

“日常”にドキュメンタリーはどう挑むか？

みやぎシネマクラドルは、宮城周辺で活動続ける映像作家と市民団体が共同で行うプロジェクトです。参加者同士発表会や勉強会をして、緩く、楽しく交流します。開催場所はメディアテーク7階奥のフリースペース。どうぞご参加ください



■日時：9月9日（水）

10:30～（受付10時）

■会場：せんだいメディアテーク
7階スタジオb

■上映作品『風は生きよという』
（監督：宍戸大裕）

■参加費 無料 定員なし

■持ち物 筆記用具・飲み物

■主催：みやぎシネマクラドル

■共催：i-くさのねプロジェクト

■協力：せんだいメディアテーク

スケジュール：

10:30～ 開会のあいさつ

10:40～ 宍戸大裕による映画上映
『風は生きよという』（81分）

12:10～ 休憩

12:15～ 質疑応答・フリートーク

13:00 発表会終了

※終了後は食事会を予定しております。

気軽にご参加ください。

■上映作品と発表者プロフィール

『風は生きよという』

監督：宍戸大裕/2015年/日本/81分/ドキュメンタリー

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かせなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？ 映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に会え、自由に動けないからこそ、生きてあることに感動する。呼吸器からは休みなく空気が流れる。「シュー、シュー」と吹くそれはまるで風のように。その風に乗る、つながりあう人と人との物語。

発表者：宍戸大裕（ししど・だいすけ）

映像作家。1982年宮城県出身。学生時代、映画監督の飯田基晴さんが主宰する映像グループ「風の集い」に参加。東京の自然豊かな山、高尾山へのトンネル開発とそれに反対する地元の人びとを描いたドキュメンタリー映画『高尾山 二十四年目の記憶』（2008年）を製作。東京の福祉施設で勤務中、東日本大震災が発生。被災した動物と人びとの撮影をはじめ。退職し1年8ヶ月にわたり取材。映画「犬と猫と人間と 2 動物たちの大震災」（2013年劇場公開）にまとめる。



メディア

② 全デイズ

■ご予約・お問い合わせ先

☎080-2773-0181（砂子）

✉m.cinamacradle@gmail.com

<http://www.smt.jp/projects/cradle/>

